

- 問1 1873年に始まった地租改正は、それまでの収穫高に応じた年貢に代わり、地価を基準に一定の税率を現金で納税させるものでした。しかし、この改革は農民にとって非常に重い負担であったため、各地で激しい反対一揆が起こりました。こうした情勢を受け、明治政府が1877年に実施した具体的な措置として正しいものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 課税の基準を地価から再び収穫高(作物の量)に戻した
 2. 農民が民間から借りていた借金をすべて政府が肩代わりした
 3. 年貢の割合を江戸時代のような「四公六民」に固定した
 4. 地価の3%としていた税率を2.5%に引き下げた
- 問2 文明開化の時期、明治政府がそれまでの暦を廃止し、新たに太陽暦を導入した主な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
1. 江戸時代から続く飛脚制度を維持するために、各地の到着時刻を正確に管理する必要があったため
 2. 西洋諸国と共通の暦を用いることで、国際的な交流や商取引を円滑にし、国家の近代化を図るため
 3. 農業生産を安定させるために、古くから使われてきた季節の区分をより厳格に国民に守らせるため
 4. 仏教の行事に基づいた伝統的な生活習慣を全国で統一し、宗教の力を借りて社会を安定させるため
- 問3 1872年に鉄道が開通した当時、明治政府は産業の育成(殖産興業)にも力を入れていました。鉄道が開通したのと同じ年に操業を開始した、赤レンガ造りの建物と蒸気機関の煙突を特徴とする、群馬県に設置された官営模範工場の名称を教えてください。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
1. 大阪砲兵工廠
 2. 富岡製糸場
 3. 長崎造船所
 4. 八幡製鉄所
- 問4 日本の歴史において、19世紀の近代的な政治の特徴として「中央集権国家のしくみが整う」という記述がなされることがあります。この動きの中心的な役割を担った人物としてふさわしいものを選びなさい。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
1. 徳川家光
 2. 天武天皇
 3. 木戸孝允
 4. 足利義満
- 問5 明治政府が1872年から1879年にかけて行った、琉球王国を日本の一つの地方行政単位として組み込んでいく一連の措置に関する記述として、正しいものはどれですか。組織名の変遷に注目して選びなさい。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
1. まず沖縄藩を設置して政府の管轄とし、その後に県庁を置いて沖縄県とした
 2. まず琉球王国を廃止して沖縄藩を設置し、最終的に鹿児島県に編入した
 3. まず沖縄県を設置して近代化を進め、その後に自治を認めて琉球藩とした
 4. まず琉球藩を設置して国王を藩王とし、その後に藩を廃止して沖縄県を置いた
- 問6 1872年に新橋・横浜間で開通した日本初の鉄道について、その歴史的背景や目的を説明した記述として最も適切なものを、次のうちから選んでください。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 「富国強兵」の一環として、北海道の炭鉱から石炭を輸出港へ運ぶために最初に整備された。
 2. 「地租改正」による税制の安定化を待ってから、民間の資本のみによって全線が建設された。
 3. 「廃藩置県」に反対する土族の反乱を鎮圧するため、兵士を迅速に輸送することを最大の目的として建設された。
 4. 「文明開化」の風潮のなか、欧米の優れた技術を導入して日本の近代化を世界に示す目的があった。
- 問7 明治新政府が示した方針の中に、「広く会議ヲ興シ、万機公論ニ決スヘシ」という一節があります。この内容が示している、新政府の政治の進め方として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 和歌山県公立入試 類似)
1. 天皇の権限を絶対的なものとし、一部の貴族のみで政治を行う。
 2. 江戸幕府の仕組みをそのまま引き継ぎ、将軍が政治を行う。
 3. 国民一人ひとりに選挙権を与え、議会制民主主義を即座に導入する。
 4. 広く会議を開き、人々の意見を尊重して政治を行う。
- 問8 1889年に公布された大日本帝国憲法の草案を作成するにあたり、中心的な役割を果たした人物と、彼が最も参考にした国の憲法の組み合わせとして適切なものを選択してください。 (2026年 青森県公立入試 類似)
1. 板垣退助がフランスの憲法を参考にした
 2. 大隈重信がイギリスの憲法を参考にした
 3. 木戸孝允がアメリカの憲法を参考にした
 4. 伊藤博文がドイツ(プロイセン)の憲法を参考にした
- 問9 明治政府が「五箇条の御誓文」の第一条において、「広く会議ヲ興シ万機公論ニ決スベシ」という方針を掲げた歴史的な背景や目的として、最も適切なものを選択してください。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)
1. 外国との交渉を拒否し、鎖国体制をさらに強化することを宣言するため
 2. 諸藩の有力者などの意見を取り入れる姿勢を示し、新政府への協力を得るため
 3. 天皇にすべての権力を集中させ、国民の意見を一切排除するため
 4. 土農工商の身分を強化し、武士による軍事政権を再興するため
- 問10 明治初期、岩倉具視を全権大使として欧米諸国に派遣された使節団のメンバーに関する説明として正しいものを選びなさい。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 西郷隆盛や板垣退助が、欧米の軍事技術を視察するために参加した
 2. 徳川慶喜が幕府の代表として、フランスとの同盟強化のために参加した
 3. 大久保利通や木戸孝允、伊藤博文らが副使として同行した
 4. 勝海舟が全権大使となり、福沢諭吉が通訳として同行した
- 問11 明治時代初期の日本において、政府が「富国強兵」や「殖産興業」といった政策を強力に推進し、近代化を急いだ理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. 鎖国体制をより強固なものにし、外国の影響を一切排除するため
 2. 欧米列強に対抗できる国力をつけ、独立を維持し植民地化を避けるため
 3. 白村江の戦い以来続いている伝統的な防衛体制を現代化するため
 4. 冷戦下の国際秩序において、周辺諸国との軍事バランスを保つため
- 問12 明治初期の統計資料において、日本の総人口が約3,313万人であったことが記録された1872年の戸籍編纂と、その翌年に出された法令の関係について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 人口調査の結果に基づき、食糧不足を解消するために満20歳以上の男女を海外へ送る勤労動員を開始した。
 2. 戸籍によって武士の家系を特定することで、旧来の武士階級のみを対象とした近代的な志願兵制度を確立した。
 3. 戸籍によって対象者を把握することで、身分に関わらず満20歳になった男子に兵役の義務を課することが可能になった。
 4. 戸籍に登録された全国の男子のうち、一定の納税額を満たす者だけに軍事訓練への参加を義務づけた。